

VI 計画の指標

1 政策の柱ごとの指標と目標値

本市における食育の推進のための取り組みの成果を客観的に判断するため、それぞれの柱ごとに「指標と目標値（令和5年度）」を設定しました。

柱	指標	対象	現状値 (平成29年度)	目標値 (令和5年度)	
食生活の推進による健康で生き生きとした実践	朝食をほぼ毎日食べる者の割合	幼児	92.7%(※)	100%	
		小学生	93.0%(※)		
		中学生	92.5%(※)		
			20～30歳代男性	53.0%	85%以上
	野菜を1日に2回以上食べている者の割合	19～39歳	26.0%(※)	60%以上	
	1日あたりの食塩摂取目標量が8g未満であることを知っている者の割合	20歳以上	56.6%	70%以上	
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べる者の割合	20歳以上	43.7%	70%以上	
		20～30歳代	26.5%	55%以上	
	生活習慣病の予防や改善のため、食生活に気をつけている者の割合	20歳以上	67.4%	75%以上	
	ゆっくりよく噛んで食べる者の割合	20歳以上	47.1%	55%以上	
食育に関心がある者の割合	20歳以上	77.9%	90%以上		
社会環境の整備	食品購入時に栄養成分表示等を参考にしている者の割合	20歳以上	58.6%	70%以上	
	健康づくりを推進する飲食店等食品関連事業者の増加	食品関連事業者	739店舗	900店舗	
	食生活改善推進員が取り組む活動への参加者数の増加	参加者	368,934人	増加	
生産から消費までの食の安全・安心	市内産・県内産を買うようにしている者の割合	20歳以上	68.3%	86%以上	
	食品を捨てる量（生ごみ）を減らすために行っていることがある者の割合	20歳以上	62.1%	80%以上	
	健康に悪影響を与えない食品の選び方や調理についての知識がある者の割合	20歳以上	62.8%	88%以上	
30歳代男性		36.4%	55%以上		

(※)は平成28年度